





ゲームの黄金律

ゲームで勝利するのは...

ゲームを支配するのは...

ルールを最も知る者



盲点（スコトマ）

- タブー
 - 人間社会のルール／道徳／倫理／宗教／常識に反するもの→普遍ではない
 - 親や大人も学校も教えない
 - 公で語ってはいけない／忌み嫌うべき
 - でも...
現実にとっても重要で避けては通れず、幸福感の重要な尺度でもある



タブー視される性交

- 私たちは誰もが性交の結果誕生
- 最も心身ともにオープン（裸）になって相手を抱きしめ、受け入れ、慈しみ合う濃密な愛を表現する行為
- にも関わらず...
不浄なもの、墮落、反道徳的、恥ずかしい
- 一方で...
古来より人間社会の一部の支配者層／権力者層
／宗教が秘密の儀式としている※ゲームの黄金律



性とタブー／神聖化

- 性交は不浄？
 - 私たちは浮上行為から生まれた不浄な存在なのか？
- 性交は子作りの為の神聖なもの？
 - 子作り目的の性交ならば
 - 生涯に数度だけになってしまう
 - 快楽に溺れてはいけない→罪の意識
- 一般的に決定的に欠ける性の知識（情報）
 - 性は本能ではなく**知識**である！
 - 本能欲：食べる、寝る、恋愛（恋はしても性欲は起きない）※マルソン『野生児—その神話と真実』



感想のシェア

- 課題教材を学ぶ前と後でセックスに対する認識の変化をシェア
- 実践：パートナーとの関係
 - 既に実践に活かしたこと
 - これから活かそうと思うこと
- 性に対して私たちはどう付き合うことが賢明と思うか？
 - 教育について
 - 公での情報公開
 - 人間関係におけるセックスの位置付け



考察：性の本質とあなた

- 性交により誕生した“あなた”
- あなたが性交することにより誕生する生命
- あなたの存在と性の関係：
 - 性交を通して見えてくる“あなた”の存在意義or進化発展



真理を知りたがる人間の性

- 人間だけが問いかける”なぜ？”
- 自分自身の究極の存在意義＝天命
 - なぜ、あるのか？
- この世界のあらまし＝法則
 - なぜ、こうなるのか？どうなっているの？
- 私たちは天命と法則を知りたがっている
 - なぜか？
 - 私たち自身が法則だから＝この世界（天／神）が法則だから



真理から遠ざけるもの

- タブー&神聖化

- 公から隠され、遠ざけられる情報

- 情報を極端に偏らせ歪めさせる

- 罪の概念を根付かせ自己矮小化させる

- しかし、本質的に最も関係し、私たちが（意識で認識できる形で）完全な存在にするためになくってはならないもの



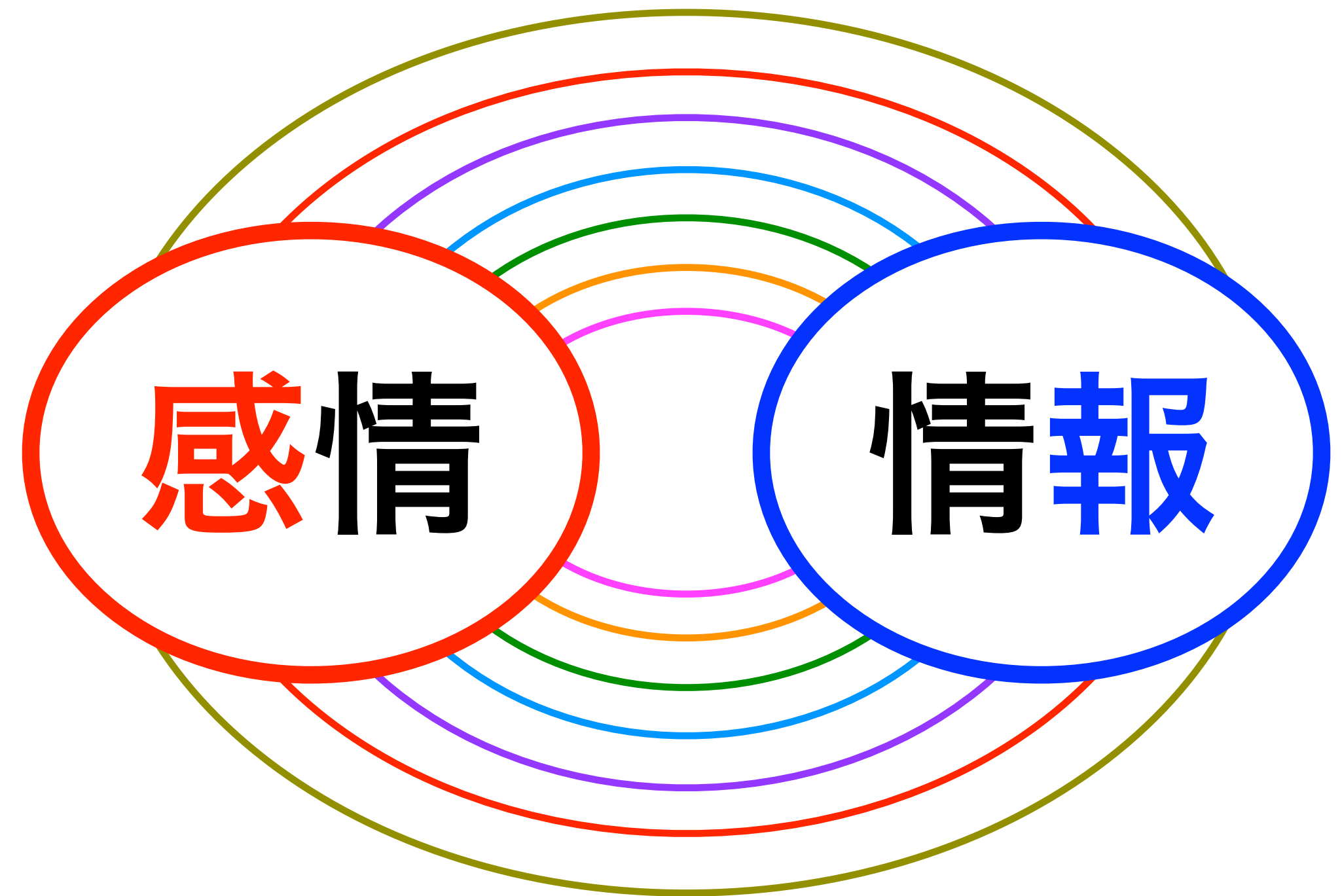
性交とは？

- **真理を知るための行為**
 - 法則（真実）を知り体験し一体化する
 - 性交の相手との濃厚な情報と感情の交流
 - （内なる）意識も身体で行う行為も愛の存在となる→“覚醒”



世界の真相

存在 = 生命 = 私 = 力 = 法則



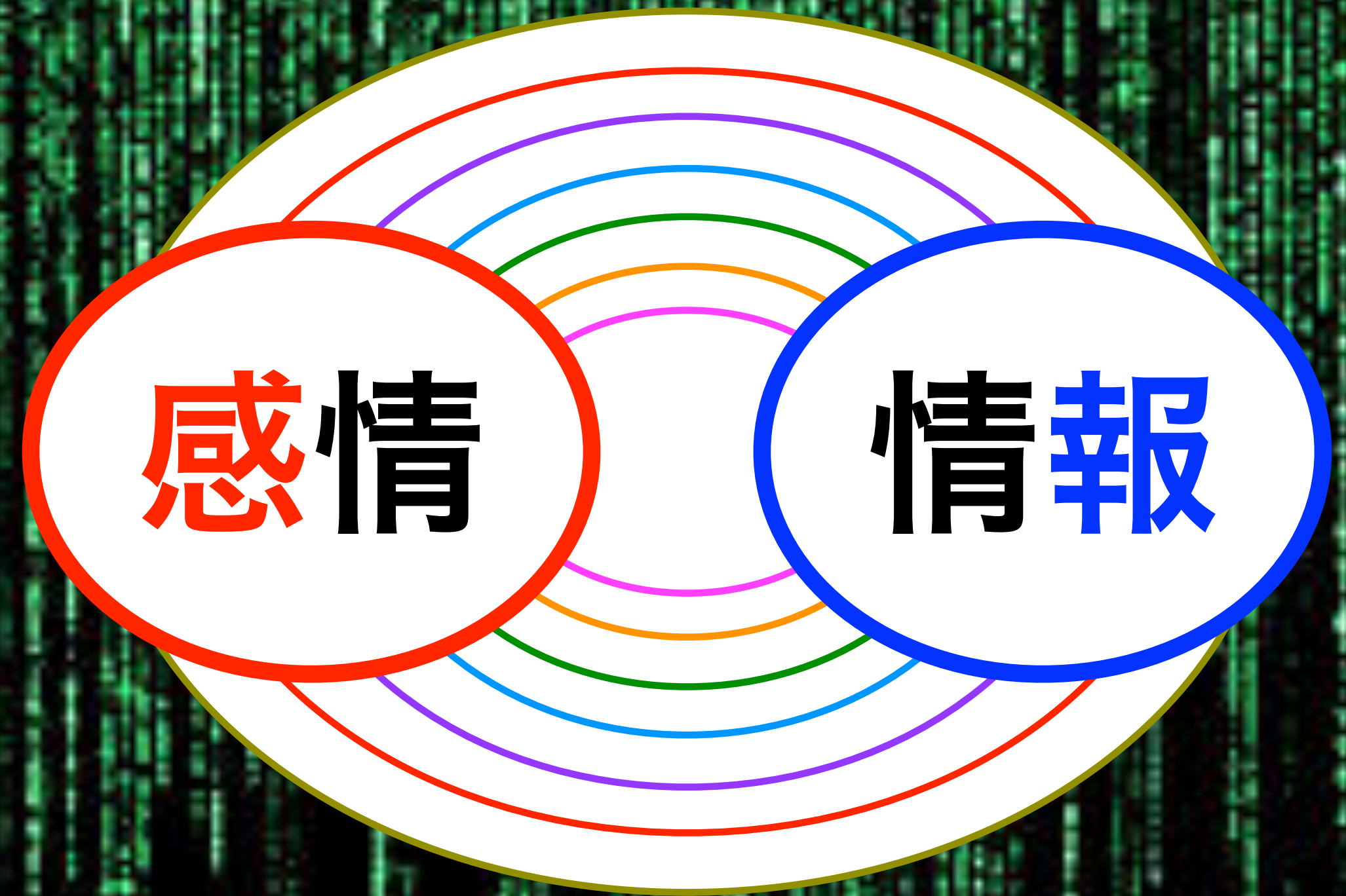


世界の真相

存在 = 生命 = 私 = 力 = 法則

感情

情報





世界の真相





世界の真相





性交のイメージ

- 母なる大地（Mother Earth＝女性＝陰）に陽光と雨が降り注ぎ、生命の芽が生まれる。
- 生命の全てがある完全なる大地（女性＝陰＝闇すなわち自分を知らない）に陽光を当てるのが男性＝陽）の役割。



性交の実践

- 女性：自らの中に陰と陽を統一し完全性を体感する（直観的＝直に体験する）
- 男性：完全性に至る女性を目撃し完全性を理解する（論理的＝知識として悟る）
- 性行為：情報と感情の交流
 - 男性は女性（の情報）を知ろうと刺激（情報）を与え、女性の発する情報に感情を表現する
 - 女性は情報を男性に送り、自らを知る過程で感情を表現する



性交における情報交換

- 男性：女性から情報を受け取るには、指先で軽く繊細に触れること。女性の性器（膣内）は外皮と同じ。繊細にゆっくりと挿入し、膣内を感じることに。
 - 早く動き、昇天したいとする衝動を抑える
 - 男はガマンと心得る！
- 女性は自分自身を知るために肌を柔らかくすべすべにして、意識を向けて感じることに。そして情報のフィードバックを男性に与える。
 - 羞恥、罪悪、嫌悪といった善悪の概念から離れ、陰陽バランスした中和（完全体）を自覚する。



性交の目的は？

”私”（I = 愛）を知ること

愛 = 法則 = 宇宙の本質



私の存在意義は？

宇宙全体の中のパズルの一片
としてユニークな情報と感情の
交流促進を担っている

...という1つの捉え方もある
程度に思ってください。